

平成28年 6月 8日
東北地方整備局
仙台河川国道事務所

三陸沿岸道路（もとよし け せんぬま本吉気仙沼道路（Ⅱ期））の
開通見通しについて

三陸沿岸道路は、仙台市と八戸市を結ぶ約359kmの復興道路で、東日本大震災からの復興に向けたリーディングプロジェクトとして整備を進めています。

平成23年度に事業着手した、本吉気仙沼道路（Ⅱ期）（仮称）本吉IC～
（仮称）おおや大谷ICの区間4.0kmを、平成30年度までに開通する見通しです。

～三陸沿岸道路の開通により期待される効果～

- 輸送効率化と地域産業の復興加速化を支援します。
- 安定した救命救急活動を支援します。

◎今回の公表により三陸沿岸道路（宮城県内）約126kmのうち、約111km
（約9割）の開通見通しが確定したことになります。

<記者発表先：宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会、石巻記者クラブ、気仙沼記者クラブ>

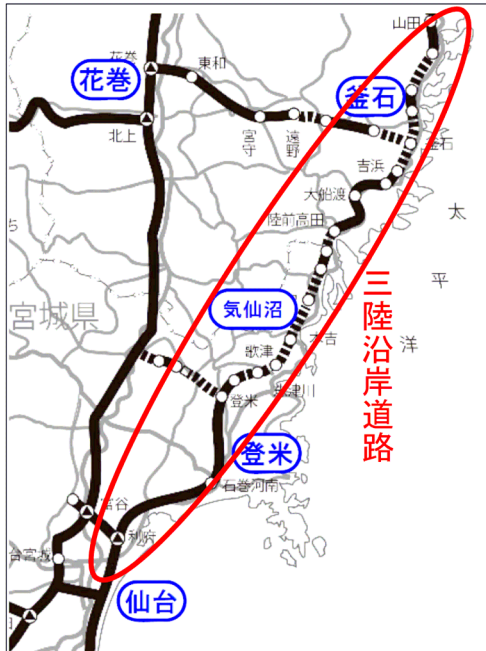
問い合わせ

国土交通省 東北地方整備局 仙台河川国道事務所 TEL:022-248-4131(代)

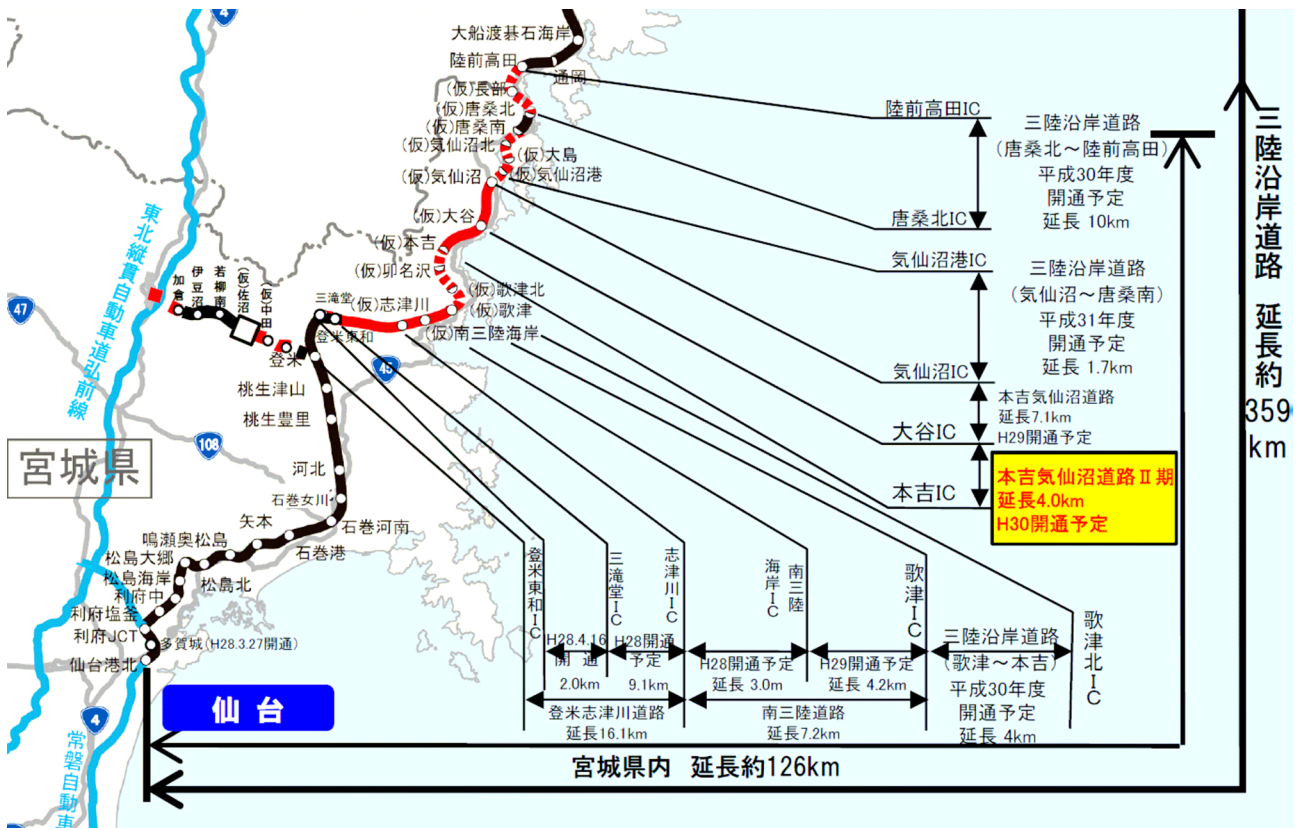
副 所 長 おりかさ とおる 折笠 徹 (内線205)

三陸沿岸道路の開通見通しについて

<位置図>



凡 例	
	開 通 済
	事 業 中
	事 業 中 (震災後事業着手)
	未事業化
	IC、JCT



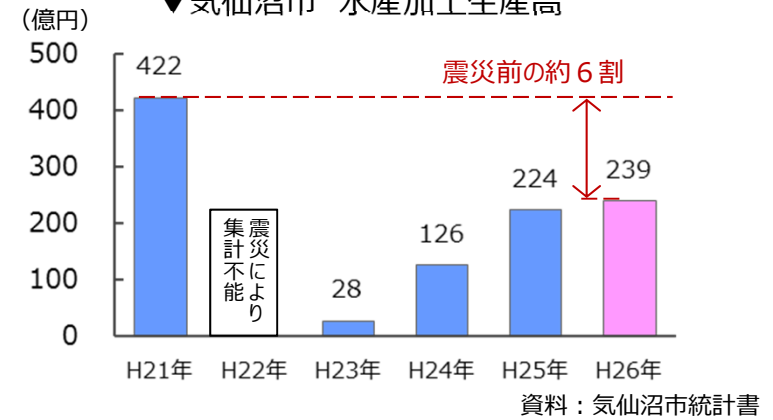
輸送効率化と地域産業の復興加速化を支援する三陸沿岸道路

- 東日本大震災により壊滅的な被害を受けた水産加工業の生産高は、震災以前の約6割の水準まで回復
- 三陸沿岸道路の整備により、水産加工品輸送の効率化が図られ、水産加工業の復興加速化を支援

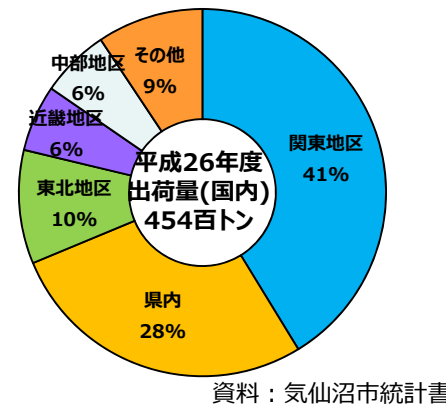
■気仙沼港から仙台中央卸売市場への経路変化



▼気仙沼市 水産加工生産高



▼気仙沼市 水産加工品出荷方向



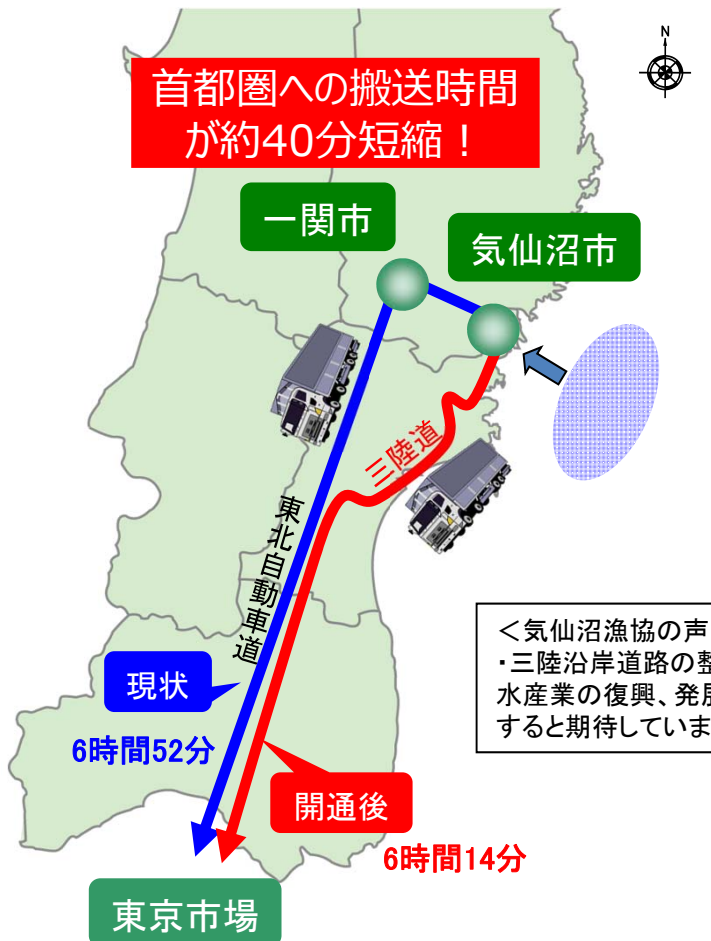
○新たに整備した水産加工団地

- <鹿折地区>**
 - 立地予定企業 21社
 - 整備面積 約10.8ha
 - 稼働済 15社
 - ⇒平成28.3月までに造成完了
- <南気仙沼地区>**
 - 立地予定企業 56社
 - 整備面積 約18.4ha
 - 稼働済 28社
 - ⇒平成28.3月までに造成完了
- <赤岩港地区>**
 - 立地予定企業 12社
 - 整備面積 約12.0ha
 - 稼働済 0社
 - ⇒平成28.7月末造成完了予定

輸送効率化と地域産業の復興加速化を支援する三陸沿岸道路

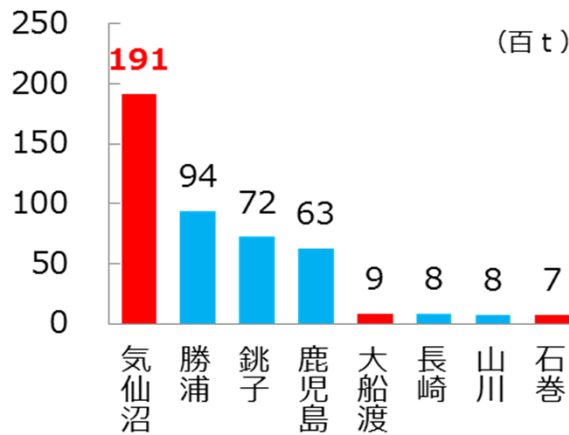
- カツオ水揚量が18年連続日本一である気仙沼港では、水揚漁獲高が震災以前の約8割の水準まで回復
- 築地市場の生鮮カツオの取扱実績は、宮城県産が約3割を占める
- 三陸沿岸道路の整備により、水産物輸送の効率化が図られ、水産業の復興加速化を支援

■ 気仙沼港～東京市場間の経路変化

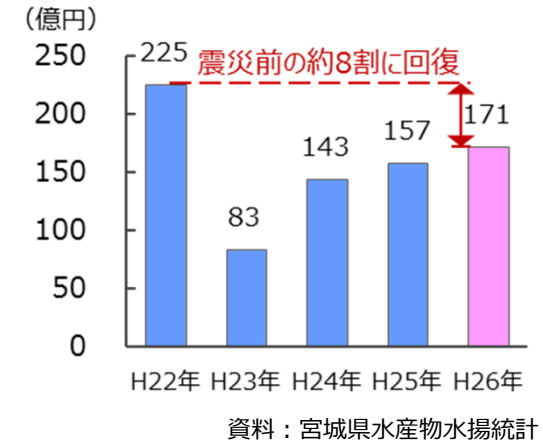


<気仙沼漁協の声>
 ・三陸沿岸道路の整備が、水産業の復興、発展に寄与すると期待しています。

▼ 漁港別生鮮カツオの水揚量(H26)



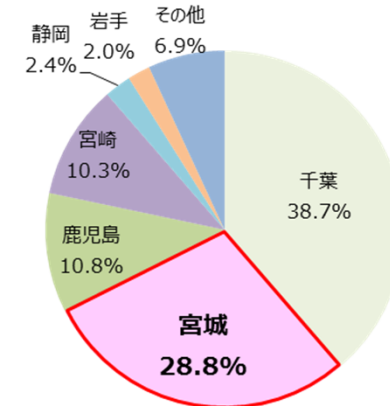
▼ 気仙沼港 水揚漁獲高



▼ 築地市場におけるカツオの取扱実績 (H26)



▲ カツオの水揚げの様子
 資料：気仙沼市

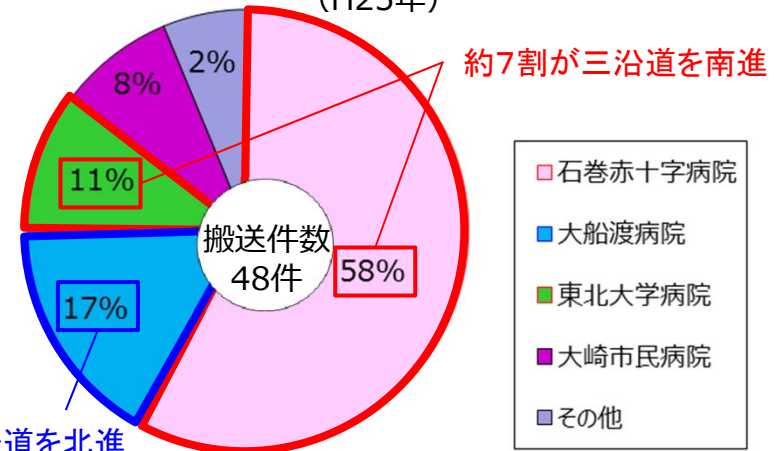


安定した救命救急活動を支援する三陸沿岸道路

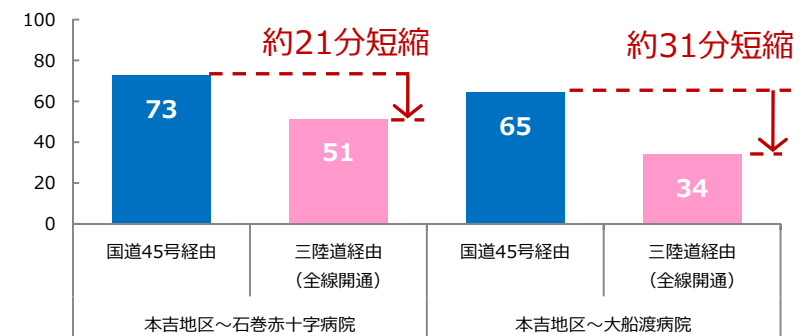
- 気仙沼市から第三次救急医療施設への搬送は、約7割が石巻赤十字病院及び東北大学病院、約2割が大船渡病院となっている
- 三陸沿岸道路の整備により搬送時間が約21～31分短縮されるとともに、信頼性が高く、安定した救命救急活動を支援



▼ 気仙沼市から三次救急医療施設への救急搬送割合 (H25年)



▼ 本吉地区から三次救急医療施設への所要時間



資料：H22道路交通センサス

<消防本部の声>
 ・国道45号は急カーブ等の線形不良区間が多く、患者への負担が課題。
 ・道路の整備により、救命率向上や患者への負担軽減に期待。